

施政方針演述に 対する質問



【抜粋】

〔市長に対する質問〕

質問 22年、23年と行財政改革の推進を進めてきたが、第一次効果額75億円、第二次効果額35億円前後で、目標達成にはほど遠い数値である。どう考えるか。

答弁 第一次75億円の効果額は60％は人員削減によるものである。第二次効果は現在39億円を見込んで精査している。

質問 合併協議会協定では平成25年度まで職員採用は5分の1だが、給与削減だけでは目標達成はできないのでは。



施政方針を演述する小沢昌記市長

答弁 採用5分の1を守り、新たな見直しを検討し、更なる効果を見据えながら45億円を目標に計画している。

質問 行革に対する市長の思いの一端の程をお聞きます。

答弁 行革については45項目としたが、更に104項目について検討する。進める上で市民理解が必要であり、丁寧に説明し協力が得られるようにしたい。

質問 合併し6年になるが合併の効果について市長はどの様に見ているか。

答弁 水沢病院、岩手競

馬、土地開発公社問題などについては早く解決しなければならぬ。福祉行政、教育については効果の前進が見られる。

質問 市長にとって健全財政とは何か。

答弁 指数、実数が一つの目安となる。市民要望に応えられる状況が整った時が健全財政と考える。

質問 被災地のガレキの処理支援は出来ないのか。

答弁 奥州金ヶ崎行政事務組合の最終処分場はガレキを受入れることにより計画変更がともなうので受入れについては今後検討したい。

質問 自殺予防対策はどの様に行っているか。

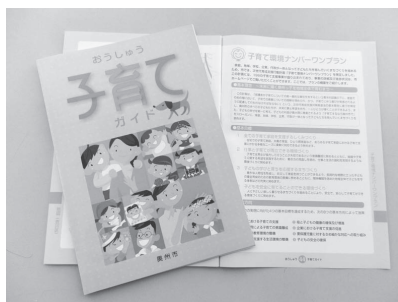
答弁 一人暮らしや将来について不安、無力感を感じている方に市として手をさしのべていく。ゲートキーパーを養成し見守り支え合う体制を強化していく。

質問 危機管理体制はどうなっているのか。

答弁 危機管理部署は市民環境部が担当する。緊急有事の際には市長がトップとなり全庁対策会議で対応していく。

質問 人口減少に対し、どの様に対処するか。

答弁 少子化に歯止めをかけたい。子供が一人二人と産める環境づくりが大事であり子育てナンバーワンプランを重視し更なる政策を今後も進めていく。



未来に輝く奥州っ子を地域全体で育むまち

質問 安心してらせる医療体制をどう考えているか。

答弁 医師の確保と地域医療連携を強化していく。